



あなたの 「楽しく働く形」を 総務省で

相模原市副市長

大川 亜沙奈

OKAWA Asana

平成 15年 4月 総務省自治税務局固定資産税課
平成 15年 8月 沖縄県企画開発部地域・離島振興局市町村課
平成 17年 4月 環境省総合環境政策局総務課
平成 18年 7月 同 総合環境政策局総務課主査
平成 19年 4月 総務省自治行政局公務員部公務員課給与能率推進室主査
平成 20年 7月 自治財政局公営企業課制度企画係長
併任 経営管理係長
平成 21年 4月 地方公営企業等金融機構資金部資金課調査役心得
平成 21年 6月 地方公共団体金融機構資金部資金課調査役心得
平成 22年 4月 青森県環境生活部県民生活文化課総括副参事
平成 23年 4月 同 総務部市町村振興課長
平成 25年 4月 総務省大臣官房秘書課課長補佐
併任 自治大学校教授
平成 26年 9月 同 自治行政局公務員部福利課課長補佐
平成 28年 4月 政策研究大学院大学准教授
平成 30年 4月 総務省大臣官房秘書課課長補佐
併任 大臣官房企画課
平成 31年 4月 自治体国際化協会交流支援部長
令和 3年 8月 地方公務員共済組合連合会資金運用部長
令和 4年 4月 現職

社会のために貢献したい。でもどうせ働くなら、楽しく働きたい。

働く「楽しさ」の形は人それぞれだと思いますが、入省してからのこの二十数年、そしていま勤務している相模原市でも、私は「働いていて楽しい」と思える瞬間に恵まれていると感じています。

「楽しく働く」ということ

働いていて「楽しいな」と思えるとき。まず浮かぶのは「多くの人の役に立てたと思えた」ときではないでしょうか。基礎自治体では「市民」の存在をとて身近に、ビビッドに感じられます。地域の方々と懇談会など、様々な場面でかけていただく市の取組への期待の言葉は、私にとって大変ありがたい仕事の原動力であり、基礎自治体ならではの「楽しさ」だと感じています。

二つ目は「仕事を通じて自分の成長を感じられた」とき。財政全般に加え、福祉・子育て・教育と生活に密着する分野を担当していますが、東京都と隣接するという地理的条件の中で、こども医療費助成制度の拡充や学童保育の充実などの前例の乏しい、難しい課題に取り組むからこそ、職場の仲間と共に答えを導き出した時には、成長したな、心から

「楽しいな」と感じることができています。国に戻ってこの経験を活かした時には、きっとまた自分の成長を感じられるのではないかなと思っています。

三つ目は「仕事と家庭の両立ができています」とき。「楽しいワーク」には、やっぱり「充実したライフ」が不可欠です。産休・育休を取りながら子育てにも向き合い、二人の子どもも小学四年生と一年生になりました。これからも子どもの成長を楽しみに、プライベートにおいても充実した時間を過ごしていきたいと思っています。

あなただけの「楽しく働く形」を

これまで勤務した国、沖縄県、青森県でも、それぞれの「楽しさ」がありました。総務省には職員の数だけ「楽しく働く形」があります。是非一人でも多くの皆様に、「楽しく働ける」総務省で、あなただけの楽しいキャリアデザインを描いて頂けると嬉しいです。私自身も、後輩の皆様がより「楽しく働ける」職場づくりに、職員の一員として引き続き貢献していきたいと思っています。



相模原市古民家園にて。プライベートでも市内の観光、食べ歩きをよくしています。



友好都市、岩手県大船渡市「三陸・大船渡夏まつり」の開催式にて。

AIのガバナンスとOECDの役割

OECD(経済協力開発機構)は、様々な経済・社会政策分野について調査、分析、提言を行っている国際機関です。本稿のタイトルは、OECDのスローガンに基づいています。AIの進歩は私たちの生活に多くのメリットをもたらす一方で、安全性や信頼性への懸念等の課題も指摘されています。こうした背景を踏まえ、OECDは2019年に、人間中心で信頼できるAIを実現するために各国が遵守すべき「OECD AI原則」を策定しました。私が所属するチームでは、より多くの国がこの原則に沿った政策を推進できるよう、各種ガイダンスやレポートの発行、関連データ・ツール等の提供を行っています。

日本政府も2023年にG7において「広島AIプロセス」を立ち上げるなど、AIガバナンスの議論で積極的な役割を果たしており、こうした取り組みと連携しながら、安心して信頼できるAIの実現に向けて取り組んでいます。

国家公務員として国際機関で働く中で感じること

各国が異なる優先課題を持つ中、多国間の議論を通じてAIガバナンスの枠組みが形成されていくダイナミズムを目の当たりにできるのは、国際機関ならではの魅力です。国際的なAI政策の潮流の中で日本の取組を客観視することで、日本における望ましいアプローチを考えるヒントも得られます。

また、多様なバックグラウンドの職員がいて、かつ個々の業務の独立性の高い環境であるため、業務の全体像をつかみ円滑に仕事を進めるため、日本にいたとき以上に意識的に同僚とコミュニケーションをとるよう心掛けています。環境の違いに苦勞することもあります。こうした経験は、今後の業務に生かせる大きな学びになっています。

総務省のキャリアパス

入省以降、米国留学では米国・EU等におけるデータプライバシー政策等について学び、内閣サイバーセキュリティセンターでは安心・安全なサイバースペースを実現するための国際連携に携わり、総務省では安全なデータ利用を促進する国内の枠組みづくり等に従事しました。こうした経験を通じて、ICT分野におけるグローバルなルール形成の重要性を強く感じるようになり、その思いが現在のOECDで

の勤務にも生きています。一見バラバラに見える経験ですが、それぞれが問題意識や関心を形づくり、次の経験へとつながってきたと感じています。

総務省には、このように幅広い経験や多様なキャリアを追求できる環境があります。さまざまなフィールドで課題解決に挑戦したい方は、ぜひ総務省の門をたたいてみてください。



職場の同僚達と



家族と過ごす休日

Better policies for better lives ～国際的な政策形成の最前線で～

経済協力開発機構
ポリシリアナリスト

杉本 香純

SUGIMOTO Kasumi

平成 22年 4月 総務省採用
同 情報流通行政局情報通信作品振興課
平成 22年 7月 同 情報流通行政局情報流通振興課情報流通高度化推進室
平成 23年 7月 同 行政評価局客観性担保評価プロジェクトチーム
平成 24年 8月 同 大臣官房秘書課
平成 25年 7月 同 総合通信基盤局電気通信事業部消費者行政課企画係長
平成 27年 7月 米国留学(ニューヨーク大学/コロンビア大学)
平成 29年 7月 内閣官房内閣サイバーセキュリティセンター参事官補佐(国際戦略担当)
令和 元年 7月 情報流通行政局情報通信政策課課長補佐
令和 3年 2月 育児休業
令和 4年 4月 国立研究開発法人情報通信研究機構サイバーセキュリティ研究所
ナショナルサイバートレーニングセンターマネージャー
令和 6年 9月 現職